

【福島県三春町】校務 DX 計画

文部科学省が定める「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議」の提言や「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育 DX を推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、以下の取り組みや検討を行い、校務 DX を推進する。

1. デジタル化の推進

(1) デジタル活用による情報共有の効率化

職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化したり、教職員への調査・アンケートをクラウド上で実施したりするなど、校務の効率化を図る。また、教職員が作成した教材等をクラウド上で共有したり、職員会議等における検討事項にあらかじめ意見を求めたりするなど情報共有の効率化を進めていく。

(2) FAX・押印の原則廃止

災害時や教育系ネットワークの不具合時等、FAXの方が効率的となる場合を除き、FAXの原則廃止に向けた業務の見直しや関係機関への働きかけを行う。また、押印の原則廃止に向けては、業務の見直しを行い、関係規則の改正を行う。

(3) 保護者への通知・連絡手段のデジタル化

アプリを活用した欠席報告や家庭への文書送付の電子化、汎用的クラウドサービスの活用により、業務の効率化および教職員の働き方改革を推進していく。

(4) 校務支援システムの最大活用と次世代型校務システムの導入検討

統合型校務支援システムの活用により、名簿情報等の不必要な手入力作業を削減し、事務負担の軽減と業務の効率化を進める。また、文部科学省が示す「パブリッククラウド上で運用できる次世代型校務支援システム」の導入に向けた検討を行うため、情報収集を進める。

2. 情報セキュリティポリシーの策定

クラウド活用を前提とした校務環境等に対応するため、また、教育現場特有の事情を考慮した上で情報資産を守るという観点から、「三春町教育情報セキュリティポリシー」の策定を行う。

3. FCS を活用した学校等への発出文書の削減

教職員働き方改革アクションプランに基づき、県がFCSのデータ共有機能を活用した県教育委員会からの発出文書削減に努めていることを受け、町教育委員会においても今後、発出文書削減による事務負担の軽減を図れるようFCSの活用を検討する。

4. 校務における生成 AI の活用

文部科学省が示した「初等中等段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン」を遵守した上で、校務での利活用を行う。